

令和3年度ハローワーク総合評価結果

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組

目次

○ ハローワークのマッチング機能に関する業務の改善の取組（ハローワーク総合評価）の概要	· · · · · P1
○ ハローワーク総合評価の評価指標の構成	· · · · · P2
○ 令和3年度ハローワークのマッチング機能に関する業務の実績	· · · · · P3
○ 令和3年度就職支援業務報告（ハローワーク青森）	· · · · · P4
○ " (ハローワーク八戸)	· · · · · P7
○ " (ハローワーク弘前)	· · · · · P9
○ " (ハローワークむつ)	· · · · · P12
○ " (ハローワーク野辺地)	· · · · · P15
○ " (ハローワーク五所川原)	· · · · · P18
○ " (ハローワーク三沢)	· · · · · P21
○ " (ハローワーク黒石)	· · · · · P24
○ 令和4年度ハローワークのマッチング機能に関する業務の目標	· · · · · P27

青森労働局職業安定部

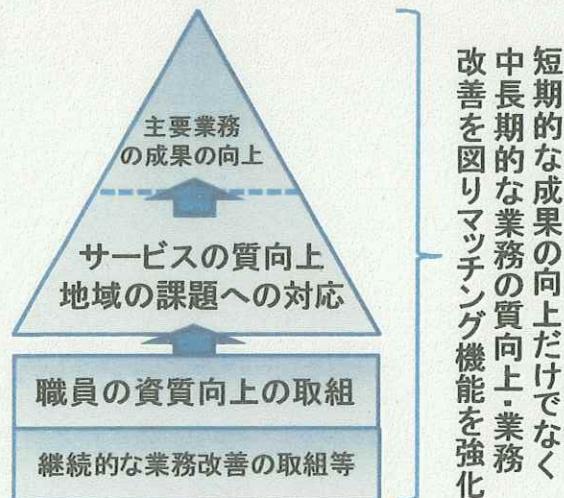
ハローワークのマッチング機能に関する業務改善の取組 (ハローワーク総合評価) の概要

別添1

ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、業務ごとの実績を管理・分析し、その状況を公表するとともに、次年度以降の業務改善に繋げていくことは、ハローワークが地域における役割を果たしていくために、重要な取組である。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による労働市場やハローワーク業務への影響を踏まえ、その実施方法を一部変更したうえで、業務改善に繋げる方法により実施。令和4年度は、例年どおり目標管理・業務改善の取組、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善(ハローワーク総合評価)の取組を実施する。

業務ごとの実績管理

- ① 就職件数等の主要指標
- ② 業務の質に関する補助指標
- ③ ハローワークごとに地域の雇用課題を踏まえ重点とする業務に関する所重点指標について、毎月の実績把握とともに、ハローワークごとに設定する目標値に代えて、過年度の当該項目の実績との対比等により進捗管理。
- ④ 中長期的なマッチング機能強化のため、ハローワークごとに、所重点項目を設定し、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する。



ハローワークのマッチング機能の総合評価・利用者への公表

- ・ 業務の成果について毎月公表
→各労働局が所管ハローワークの主要指標の実績を毎月公表
- ・ 年度終了後、業務の成果(主要指標・所重点指標)や質(補助指標)、職員の資質向上・業務改善の取組(所重点項目)の実施状況をふまえハローワークごとに取組結果及び業務改善の取組等をまとめ、各労働局が公表。
→令和3年度は、ハローワークごとに過去実績との比較により振り返りを行うこと等により、所長が当年度の取組結果について分析を行う。令和4年度は、例年どおり労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11グループに分け、同一グループ内で相対評価を行う。



重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項に関する所長の分析、指標ごとに過年度実績と対比した実績などを公表

- ・ ハローワークごとの取組結果を、労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

全国的な業務改善

- ・ ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、個別のハローワークへの改善指導や好事例の横展開を実施
- ① 取組状況に応じ、業務改善が必要なハローワークに対する労働局からの問題状況の改善指導
- ② 本省において全国的に好事例を収集し全国展開するとともに、労働局においても好事例などをとりまとめ、公表・横展開
- ③ 令和4年度は上記に加えて、例年どおり総合評価結果をもとに、本省・労働局による重点指導

1 全ハローワーク共通の評価指標(主要指標・補助指標)

(1) 主要指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち、特に中核業務の成果を測定する評価指標

- 就職件数
- 求人充足件数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

(2) 補助指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する評価指標

- 紹介率(3年度限り)
- ハローワーク利用者満足度(4年度新設)

2 地域の雇用課題等に応じてハローワークごとに選択する評価指標(所重点指標・所重点項目)

(1) 所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する評価指標

- 生活保護受給者等の就職率
- 障害者の就職件数
- 就職支援ナビゲーター支援による学卒者等正社員就職件数
- 正社員に結びついた就職氷河期世代の就職件数
- 正社員に結びついたフリーターの就職件数
- 公的職業訓練修了3ヶ月後の就職件数
- マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率
- 正社員求人件数(3年度限り)
- 正社員就職件数(3年度限り)
- 人材不足分野の就職件数
- 生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数

(2) 所重点項目

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組に関する評価指標

- 職員による事業所訪問の実施
- 職員による計画的なキャリアコンサルティング研修受講
- 求職者担当者制の実施
- 求人担当者制の実施
- オンライン登録者のハローワーク利用登録へ切替（4年度新設）
- 新規等求人の開拓（4年度新設）
- 業務改善を図った取組の共有及び実施
- 他所と連携した広域労働移動の取組
- 地方公共団体との連携の推進
- 各種業務研修の実施

令和3年度 ハローワークのマッチング機能に関する業務の実績

別添3

令和3年度の主要指標実績値【ハローワーク別】

主要指標

就職件数

求人充足件数

雇用保険受給者の 早期再就職件数

青森労働局

20, 149件

ハローワーク青森

4,464件

ハローワーク八戸

4,832件

ハローワーク弘前

3,427件

ハローワークむつ

1,138件

ハローワーク野辺地

782件

ハローワーク五所川原

1,745件

ハローワーク三沢(十和田を含む)

2,521件

ハローワーク黒石

1,240件

19, 398件

4,592件

4,561件

3,867件

940件

925件

1,462件

2,178件

873件

5, 685件

1,326件

1,370件

1,033件

239件

246件

531件

640件

300件

ハローワーク青森 就職支援業務報告（令和3年度）

別添4

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、主要指標である就職件数（常用）、充足数（常用）、雇用保険受給者の早期再就職件数について重点的に取り組むこととし、求人内容の明確化を図り、事業所情報を充実させた求人票作りを徹底し、積極的に求人情報提供（14,343件）を取り組んだところ、職業紹介1,051件のうち、328件が就職に結びつきました。また、人材不足業種の求人充足対策を推進するため、ミニ面接会や求人企業説明会を「運輸・警備・建設」分野7回、「介護・福祉」分野5回、「保育士」分野1回開催し、就職氷河期世代の求職者に重点的に案内し、参加44事業所に対して求職者199人が参加し就職および充足につながりました。

高年齢者を対象としたシニア就職面談会も3回開催し、参加7事業所に対し37人が参加し高年齢者の就職促進につながりました。

これらの取組については、求職者から「求人票だけでは分からない会社の情報が得られ、仕事内容も具体的にイメージすることができ、応募に対する不安が解消された」などの評価をいただいております。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、業務研修として、訓練担当以外の職員及び相談員にも職業訓練業務の理解が深まるよう「ポリテクセンター青森における訓練見学・体験会」を実施し、23人が参加しました。

また、職業相談窓口においても雇用保険給付に関する質問をされることが多くなっており、ワンストップで対応できるよう雇用保険給付担当職員より近年の雇用保険給付制度の変更点や新型コロナウイルス感染拡大に係る雇用保険給付業務の取扱いについて研修を行い、61人が参加しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

青森県との雇用対策協定に基づき、学卒・若年者の就職促進のため、ジョブカフェあおもりと連携し、就職面接会・企業説明会・各種セミナーを開催するとともに、ジョブカフェあおもり、若者サポートステーションとの3者によるチーム支援などにより、若年者の就職促進に取り組みました。

令和3年度の企業説明会については企業側および求職者側双方のニーズに応え、一部オンライン形式で実施し、また、ジョブカフェあお

もりと共に共催しているセミナー「1 day 就活クラブ」についても一部オンライン形式で実施しました。

未充足求人事業所へのアドバイス等で応募要件緩和や条件をアップした求人について、「リフレッシュ求人コーナー」を設け、変更内容が一目でわかるよう「求人早見シート」に変更点を示したマグネットを貼付するなど掲示方法を工夫し、求人充足の取組の改善を図りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ハローワークシステムのオンラインサービス機能の拡充が図られ、ハローワークを利用していないオンライン登録者の増加が見込まれることから、それらオンライン登録者に対しハローワークから積極的な働きかけを行いハローワーク利用につなげていくよう取組を進めています。

また、ハローワーク利用登録者についても求職者マイページを開設することにより、ハローワークからの求人情報がオンラインで送付されたり、オンライン職業紹介が受けられる等の利便性を案内し、求職者マイページ開設を促進していきます。

求人についても、事業所に対して求人者マイページを開設することにより、オンラインによる求人票の作成・提出及び画像情報の添付ができるとの周知を図り、求人者マイページを活用したサービスの向上に努めるとともに、企業情報の提供によるミスマッチの解消に役立てていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

令和3年度は、管内の新型コロナウイルス感染が収まらない状況にあり、事業所訪問による求人開拓等を積極的に行うことができず、当初の計画数の約半数しか訪問できませんでした。

当所では再就職に資するセミナー等を開催しておりますが、感染拡大防止の観点から規模を縮小してセミナーを開催しました。

また、例年、障害者面接会は外部会場で大規模に開催していましたが、新型コロナウイルスの影響により、令和3年度は4回に分散し、小規模に所内で開催しました。

令和4年度も、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながらも、必要な雇用対策に取り組んでまいります。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーターの件数	正社員求人件数	正社員就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
令和3年度実績	4,464	4,592	1,326	98.6%	359	282	11,405	2,024	105
過去3年度平均	5,184	5,372	2,007	111.0%	348	364	12,151	2,306	98
R2年度実績	4,524	4,703	1,684	103.1%	348	302	10,176	1,984	90
対 R2 比	98%	97%	78%	95%	103%	93%	112%	102%	116%
R1年度実績	5,387	5,583	2,222	114.5%		310	11,940	2,412	105
対 R1 比	82%	82%	59%	86%		90%	95%	83%	100%
H30 年度実績	5,641	5,829	2,115	116.7%		479	14,336	2,521	98
対 H30 比	79%	78%	62%	84%		58%	79%	80%	107%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク八戸 就職支援業務報告（令和3年度）

別添4

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、主要指標である「就職件数」「充足件数」「雇用保険受給者早期再就職件数」を重点に、新型コロナウイルス感染症の感染状況に留意しつつ、緊急事態宣言後に縮小した取扱いをしていた就職支援セミナー・求人事業所説明会の開催数の回復及び参加勧奨、また、来所によらない求人申込み方法として、求人者マイページの開設及び利用勧奨の強化に取り組みました。

障害者の就職面接会については、新型コロナウイルス感染防止対策をとったうえで所内会議室において管理選考スタイルで複数回開催することによって、参加事業所数、参加求職者数が大きく減少しないよう取り組みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

中長期的な職員の育成を図る観点から、求職者担当者制、事業所訪問、求人担当者制の確実な実施の継続に取り組みました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

就職支援セミナーの開催は、コロナ以前はビデオセミナーが大部分を占めていましたが、開催回数等の縮小からコロナ以前並みへ回復する取組みを契機に、求職者にとってより受け入れられやすいものとなるよう、各種就職支援ナビゲーター等を講師とした講師型セミナーの開催割合を高めました。講師型セミナーの内容に対しては求職者から「セミナーの内容は参考になった」と好意的な評価をいただいております。

求人申込の方法に求人者マイページが加わった以降、求人受理が一時的に滞留する問題が生じたことから、11月に業務体制を見直し、遅滞なく求人受理できる状態に改善いたしました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

講師型セミナーは基礎的な就職活動の知識に関する内容のものをナビゲーター等全員が講師となれることを初期段階として取り組みました。今後は、各種ナビゲーター等の担当する分野に特化したものとすることにより、内容の深化とセミナーのメニューが多様化する効果が見込まれ、求職者のニーズにもかなうと期待されることから、さらなる改善に向けて取り組むこととしております。

（4）その他業務運営についての分析等

新型コロナウイルス感染拡大により、多くの人数を一度に集めるイベントの開催や事業所訪問が計画的に実施することができなかつたことから、感染防止対策は継続しながらも、機会を捉えてコロナ以前の取組を再会させていく予定としています。

求職者マイページ利用促進の取組については、基本的な周知、説明を着実に行うことにより、9月以降開設状況は徐々に増加傾向にあり、オンライン職業紹介と併せて活用促進に取り組んでまいります。

求人者マイページについては、刷新当初は県内の他の安定所と比較し、開設率及び利用率が低調でしたが、8月以降大幅な方針転換を図り、求人者マイページによる求人申込みを優先するスタンスであることを求人者へ説明しつつ開設及び利用を勧奨したことにより、年度末時点では県内の同規模の他安定所と同等の開設率、利用率となりました。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	障害者の就職件 数	ハローワークの 職業紹介により 正社員求人に結 びついた就職氷 河期世代の不安 定就労者・無業 者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	人材不足分野の 就職件数
令和3年度実績	4,832	4,561	1,370	104.4%	332	256	15,232	2,352	1,352
過去3年度平均	5,481	5,292	1,695	117.0%	313	137	15,324	2,610	1,475
R2年度実績	4,819	4,668	1,523	108.2%	297	137	14,348	2,332	1,420
対 R2 比	100%	97%	89%	96%	111%	186%	106%	100%	95%
R1年度実績	5,698	5,458	1,710	120.6%	329		15,658	2,693	1,489
対 R1 比	84%	83%	80%	86%	100%		97%	87%	90%
H30 年度実績	5,926	5,750	1,851	120.7%	314		15,965	2,804	1,517
対 H30 比	81%	79%	74%	86%	105%		95%	83%	89%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク弘前 就職支援業務報告（令和3年度）

別添4

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、主要三指標を重点に、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の徹底に努めながら、次の取組に力を入れてまいりました。

1 紹介率（常用）向上について

職業紹介につながる職業相談を意識し、各種支援サービスのうち、求職者の求職条件に合致する常用求人情報の積極的提供（来所勧奨型紹介・計画紹介を前提とした求人情報の提供）を取り組み、紹介率 92.6%となっていました、人材不足分野を除いて年間 758 件情報提供を行い、紹介件数 320 件・就職件数 143 件と大きな効果がありました。

2 正社員求人の確保について

求人者支援員の事業所訪問による正社員求人件数の確保については、弘前市が蔓延防止措置の対象地域になるなど、事業所を訪問することが厳しい状況であったことから、訪問に代わり、求人企画部門全職員での電話による求人開拓を粘り強く実施し、正社員求人の確保は前年度実績比 113.9%となりました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

① 3年度7月から人材不足が深刻な分野について、人材確保に資する対策を講じるため「人材確保対策コーナー」を設置し、人材不足分野の求人を積極的に情報提供を行った結果、931 件の求人情報提供において紹介件数 72 件（前年度 13 件）、就職件数 34 件（前年度 5 件）と前年度を大きく上回りました。

② 求人説明会・ミニ面接会への参加を促し、求職者に開催周知を図りました。

③ 構造的な人口減少により、新規求職者数が減少傾向にある中で、就労意欲の高い高年齢者の労働市場への参加を促進するため、求人情報誌「シニアワーク」送付を行うと共に来所勧奨型紹介・計画紹介を前提とした求人情報提供を強化しました。このことは、来所相談から職業紹介、ひいては就職件数の向上へと繋がる重要な取組となりました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

システム刷新によるオンラインサービスの充実などを幅広い求職者に周知を図り、安定所利用を促して、新規求職者の減少を最小限に抑える必要があると考えています。また、システム刷新によるオンラインサービスの提供がしっかりと進められるように、窓口担当職員がシステムについて習熟することと、誰もがオンラインサービスを提供できるよう取り組んでまいります。

(2) ③に記載したように就労意欲の高い高年齢者の労働市場への参加を促進するため、求人情報誌「シニアワーク」送付を行うと共に来所勧奨型紹介・計画紹介を前提とした求人情報提供を強化したことにより、就職件数の向上につながりましたが、今後は、人材不足分野と連動した対策を強化し、高齢者の就職促進と人材不足分野をはじめとした未充足求人の充足促進を図ります。

(4) その他業務運営についての分析等

新規求職者及び紹介率が年々減少する中で、安定所の「各種支援サービス」の取扱実績を上げることが利用者の増に繋がると考えています。

なお、各種支援サービスの提供・実施に伴っては、紹介業務担当者一人一人のレベルアップが必要であり、紹介基本業務の習熟を図ると共に、紹介技術のスキルアップ等に向け、求職者の多様なニーズに合わせ適格な職業相談・紹介を行えるようになるため、数多くの事例に触れ考えることで様々な応答や対応の引き出しを増やしていくことが効果的と思われ、このことは、新規求職登録者数の増から職業相談・職業紹介件数の増、ひいては就職件数の向上に繋がる流れとなると考えています。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	正社員求人件数	正社員就職件数	生涯現役支援窓口で65歳以上の就職件数
令和3年度実績	3,427	3,867	1,033	92.6%	261	101.3%	9,047	1,567	92
過去3年度平均	4,251	4,727	1,251	110.0%	244	104.0%	8,144	1,924	119
R2年度実績	3,510	4,013	1,106	101.1%	244	102.6%	7,943	1,647	88
対 R2 比	97%	96%	93%	91%	106%	98%	113%	95%	104%
R1年度実績	4,489	4,910	1,365	108.4%		105.8%	8,142	1,964	101
対 R1 比	76%	78%	75%	85%		95%	111%	79%	91%
H30 年度実績	4,753	5,257	1,283	119.2%		104.8%	8,347	2,161	169
対 H30 比	72%	73%	80%	77%		96%	108%	72%	54%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワークむつ 就職支援業務報告（令和3年度）

別添4

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

①各指標に対する取組

当所では主要3指標【就職件数(常用)】【充足件数(常用・受理地)】【雇用保険受給者の早期再就職件数】について、特に重点的に以下の取り組みを行いました。

- ・良質求人確保のための職員による事業所訪問及び情報収集
- ・求人担当者制・求職者担当者制の実施によるマッチングの強化
- ・雇用保険受給者に対する認定日全員相談及び事前マッチングによる適格求人の提案
- ・むつ市・大間町と連携した出張相談の実施

特に求職者担当者制では、対象者46人に対して就職者数が43人（就職率93.4%）となり一定の成果がありました。

②中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では中長期的な職員の育成を図る観点から、若手職員を対象とした所内業務間研修を複数回に行うとともに、職員による事業所訪問の実施、各種イベントの主務を若手職員に経験させる等の取り組みを行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

○新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえて、求人者マイページの活用について積極的に周知を図りました。

具体的には求人者マイページからの求人申込みに合わせて、企業パンフレットや就業場所等の画像を登録することにより、来所者端末及びハローワークインターネットサービス利用者に視覚的にもPRすることができるなどを周知し、求人者マイページの積極的な活用を促しました。

また、求人者マイページの開設について開設の手順やよくある質問を取りまとめたリーフレットを所独自で作成し、新規開設の促進に取り組みました。

○大規模雇用調整に伴う離職者（雇用保険受給者）を対象として「気になる事業所・説明を聞いてみたい事業所」についてのアンケート調

査を行い、リクエストのあった企業や業種を対象とした企業説明会を開催いたしました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

○求人担当者制においては、対象求人数 55 人に対して充足数が 26 人（充足率 47.3%）と成果があまり振るわなかったことから、今後において、これまで以上に幅広に求職者に働きかけを行うとともに、求職者ニーズを踏まえた求人要件緩和の積極的な提案を進めたいと考えております。

○ハローワークシステムの刷新により、求人者向け・求職者向けサービスの提供方法が大きく変わったことから、より一層、様々な媒体を活用した積極的な周知を図るとともに、それらの機能も活用した窓口サービスの更なる向上を図るために職員研修の充実を図りたいと思います。

(4) その他業務運営についての分析等

令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、上期では製造業、宿泊業、飲食業などが業績不振により低調な動きでしたが、下期からは新規事業所設置や新店舗開設など持ち直しの動きが見られ、令和 4 年 3 月末の新規求人数（全数）は 498 人（前年同月 413 人 /20.6% 増）となりました。

また、令和 4 年 3 月末の有効求職者数は 1,442 人（前年同月 1,505 人 /4.2% 減）、雇用保険受給者実人員 204 人（前年同月 403 人 /49.4% 減）となっており、雇用調整助成金の活用などによる雇用の維持が一定程度図られていると思います。

なお、令和 4 年 6 月には企業整備による大量離職者が発生する予定であり、求職者ニーズを捉えた求人の確保、事業所説明会やミニ面接会の開催などマッチングの強化を進めたいと思います。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	HW の職業紹介に より、正社員に結 びついた就職氷河 期世代の不安定就 労者・無業者の件 数	正社員求人件数	正社員就職件数		
令和3年度実績	1,138	940	239	91.4%	22	2,466	481		
過去3年度平均	1,179	1,022	353	87.0%	16	2,278	492		
R2年度実績	1,030	900	331	80.1%	16	2,100	439		
対 R2 比	110%	104%	72%	114%	137%	117%	109%		
R1年度実績	1,189	1,006	378	90.4%	—	2,222	498		
対 R1 比	95%	93%	63%	101%	—	110%	96%		
H30 年度実績	1,318	1,161	351	91.5%	—	2,511	540		
対 H30 比	86%	80%	68%	99%	—	98%	89%		

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介によ
る就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク野辺地 就職支援業務報告（令和3年度）

別添4

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、主要指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）に対するマッチング業務を最重要と考え、特に雇用保険受給者の早期再就職支援に重点を置いた取組を実施しました。具体的には、毎回の認定において雇用保険受給者全員との職業相談を実施し、早期再就職のメリットと就職日に応じた個人毎の再就職手当支給額を記載した「早期再就職プラン」を交付・説明することや、就職準備や応募書類の書き方などの理解促進のための就職支援セミナーへの積極的な受講を促すなどして、早期再就職への意欲喚起に取り組みました。

また、紹介歴の無い雇用保険受給者に対しては、適格紹介を前提とした求人を相談時に提供し職業紹介等を実施し、これらの取組により、雇用保険受給者の早期再就職件数は過去三年度実績の平均（以下「三年度平均」という。）264件に対し246件と下回りましたが、就職件数は三年度平均745件に対し782件、充足件数は三年度平均923件に対し925件と、三年度平均を上回りました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、求人企業を知る研修、助成金業務研修、求職者支援担当者研修（応募書類作成）、職業訓練安定所内研修などを実施し、職員の資質向上を図りました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

早期再就職等の実現のため受講を促進している就職支援セミナーについては、新型コロナウイルス感染症防止対策として、会場収容人員を半分に抑制し、マスク着用のお願い、飛沫防止アクリル板の設置、十分な換気等の対策を行い開催しました。

また、受理した求人については、充足に結びつくようよりわかりやすい内容の求人となるよう記載内容の充実に努めたほか、求人充足会議を毎日開催し求人内容の確認や、求人者の意向等を職員・相談員が共有することで、円滑に求人情報の提供が出来たことや、条件緩和された項目等が求職者の目に留まりやすいうようにPOPにして表示しました。

さらに、管内自治体（野辺地町、横浜町、東北町、六ヶ所村）のホームページに、週刊求人情報及び月1回発行の福祉関連求人情報を掲載し、潜在求職者の掘り起こし及び求人・求職のマッチングに努めることや、週刊求人情報の下段に自治体ホームページに掲載している旨を記載して広く周知を図りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

就職件数、充足件数が三年度平均を上回ったことから、求人情報の提供について、雇用保険受給者に対する毎回の認定日相談におけるマッチングや、給付制限者、就職氷河期世代の求職者、紹介歴の無い求職者に対し引き続き取り組んでまいります。

窓口での職業相談や就職支援セミナーへの誘導について、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分に行い取り組んでまいります。

また、ハローワークシステムの刷新による追加リリースで、オンラインハローワーク紹介やオンライン自主応募が可能になりましたので、求人者・求職者マイページを活用したサービスの向上に努めてまいります。

さらに、来所を希望しない求職者等へ、オンライン相談機器の利用促進を図ってまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

令和3年度において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、有効求職者数は減少しましたが、有効求人数の増加から3月の有効求人倍率は前年度同月を上回り1.30倍(0.35P増)となりました。

求人数は、増加傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、今後も景気の後退、経営悪化に伴う労働環境、労働条件の悪化も懸念されますが、求職者一人一人に寄り添った支援を行っていくことや、雇用の確保のための求人開拓や求人条件の緩和に努めてまいります。また、事業主等からの助成金等に関する相談について、迅速かつ円滑に対応していくことや、地方自治体、商工会等との連携により管内における労働環境の維持、労働条件の確保に努めてまいります。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人件数	正社員就職件数		
令和3年度実績	782	925	246	75. 1%	37	2, 934	344		
過去3年度平均	745	923	264	74. 0%	16	2, 507	340		
R2年度実績	689	849	264	66. 9%	16	2, 563	320		
対 R2 比	113%	108%	93%	112%	231%	114%	107%		
R1年度実績	754	946	263	73. 5%		2, 578	354		
対 R1 比	103%	97%	93%	102%		113%	97%		
H30 年度実績	791	975	266	81. 7%		2, 381	346		
対 H30 比	98%	94%	92%	91%		123%	99%		

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、主要指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）について、重点的に取り組みました。特に、失業認定日における全員相談については、職業相談部門及び専門援助部門の職員及び相談員により実施し、初回認定日には各自に対して再就職手当プランを手交し、早期再就職に向けて意識を高める取組を行いました。

また、当所管轄は少子高齢化により高年齢の求職者の割合が高いことから、生涯現役支援窓口に配置されているナビゲーターを中心に、対象者に対して「生涯設計就労プラン」の作成などの手厚い支援や、高年齢者も応募可能な求人の情報提供を積極的に行った結果、65歳以上の就職件数は105件となり、前年度と比較して14.7%増加しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、労働大学校での職業指導専門研修へ積極的に職員を送り出し、スキルアップを図っています。また、所内研修では職業訓練関係研修を実施し、若手職員等に対する知識等の付与を通じた資質の向上を図りました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワークシステムの刷新があり、オンライン上の求人応募が可能となったため、事業主及び求職者に対してマイページ登録の周知を行い、利用促進を図りました。

就職支援セミナーについては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、密を避けるため、定員を通常の6割程度に押さえて実施しました。DVDセミナーは実施回数63回、参加人数2,300人、外部講師セミナーは実施回数30回、参加人数279人となっています。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

当所では、新規求人数及び有効求人数は前年度実績より増加となっているものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、新規求職者数及び有効求職者数は前年度を下回っており、それに伴い、紹介件数、就職件数、充足件数が前年度を下回る結果となっています。無効求職者への状況確認及びハローワーク利用の勧奨を行い、新規求職者数及び有効求職者数を増加させる取組の強化を図ります。また、利用者端末のみを利用する求職者への声掛けや、セミナー受講者に対する窓口相談の勧奨などを徹底し、相談件数、紹介件数及び就職件数の増加を図り

ます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、新規高卒者を対象とした企業説明会が2年間開催できませんでした。最近の新規高卒者の就職希望は県外就職が減少し、地元志向が高まっていることから、管内の自治体や雇用対策協議会等と連携し、今年度は企業説明会を開催することにより、高校生に地元企業に対する理解を一層深めてもらい、就職後の地元定着を図る取組を実施します。また、管内の地方公共団体及び経済団体等を構成員とする「五所川原地域雇用情報連絡会議」についても、令和3年度はコロナウイルス感染拡大により開催できなかったため、令和4年度については各構成員と日程調整を行い、年度の早い時期に開催し、各種雇用対策の充実を図ることとしています。

(4) その他業務運営についての分析等

令和3年度における当所の有効求人倍率は0.71倍となり、青森県の有効求人倍率1.09倍を大きく下回っている状況にあることから、求人・求職の動向を分析した上で、求職者ニーズの高い職種・業種に重点を置いた質・量を意識した求人確保が必要となっています。

鰺ヶ沢町地域職業相談室（ふるさとハローワーク）については、下半期の就職件数の目標が達成できなかったため、令和4年度は業務改善計画を作成する必要があります。鰺ヶ沢町雇用対策協定の事業計画に基づき、地元企業を中心とした企業説明会・ミニ面接会を年4回開催したり、鰺ヶ沢町や近隣の市町に対して相談室の周知を依頼しながら、就職件数の増加を図ります。

令和3年9月からオンライン自主応募が可能となりましたが、当所を含め、青森局内でもまだ利用が低調であるため、引き続きハローワークシステムの利用方法について周知を図って行くこととします。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人件数	正社員就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数	
令和3年度実績	1,745	1,462	531	77.9%	117	3,245	824	105	
過去3年度平均	2,167	1,716	679	89.0%	132	3,360	1,046	67	
R2年度実績	1,939	1,546	588	83.7%	132	3,299	935	71	
対 R2 比	89%	94%	90%	93%	88%	98%	88%	147%	
R1年度実績	2,210	1,741	686	92.8%		3,313	1,073	70	
対 R1 比	78%	83%	77%	83%		97%	76%	150%	
H30年度実績	2,353	1,860	763	90.6%		3,467	1,129	60	
対 H30 比	74%	78%	69%	85%		93%	72%	175%	

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク三沢 就職支援業務報告（令和3年度）

別添4

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、主要3指標である就職件数（常用）、充足件数（常用・受理地）、雇用保険受給者の早期再就職件数について重点的に取り組みました。

具体的には、求職者アンケートの実施結果を基にした求人条件緩和指導を積極的に進め、条件緩和した求人については、DMによる情報提供や専用の掲示コーナーにおいて、求人票と併せて緩和内容を示すイラストや画像情報とともに掲示する取組を実施しました。

また、仕事と家庭の両立も重要であることから、くるみん認定を受けている事業所の求人や子育てに配慮するコメントが付されている求人をピックアップした「子育て応援求人一覧」を作成し、所内掲示や窓口配付など、子育て中の求職者に対する支援にも取り組みました。

さらに、就職氷河期世代の就職支援として、未充足の正社員求人を中心に、就職氷河期世代の受け入れ勧奨により対象求人の確保を進めました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、ハローワークの業務評価・改善の取組みを効果的に実施するため、P D C A目標管理研修や接遇研修を実施し、職員の資質向上を図りました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者に対して、求人票以上の情報を提供するため、画像情報の収集に力を入れ、求人早見シートとともに専用コーナーに掲示しました。新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、各種セミナーや説明会については、1回あたりの参加人数を半数に制限しましたが、従来ベースの受講できる機会を確保するため開催回数を増やしました。

また、受付・紹介窓口から給付窓口へ案内する場面において、利用者が再度説明をしなくても済むように、用件を簡潔に把握・伝達するための専用様式を作成し、サービス改善を図りました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

人材不足分野における人材確保対策はもとより、求職者が応募求人を選定する際の一助となることも含め、求人票以上の情報を幅広に提供

したいと考えていることから、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえつつ、感染防止対策を徹底し、事業所担当者によるセミナーや説明会を積極的に開催することにより、マッチングの推進を図ります。

(4) その他業務運営についての分析等

今後も新規求職者数の減少が見込まれることから、ハローワークのサービスメニューを広く周知するなど、引き続き求職者の掘り起こしを行なう必要があります。

また、求職者ニーズの的確な把握による求人提案の精度を向上させることや職業相談技法の一層の向上を図り、効果的に就職や充足への結び付けることにより、利用者の期待に応えられる業務運営を推進します。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人件数	正社員就職件数	障害者の就職件数	
令和3年度実績	2,521	2,178	640	93.5%	60	6,069	1,140	110	
過去3年度平均	2,896	2,435	767	99.0%	39	5,469	1,262	113	
R2年度実績	2,581	2,180	720	96.1%	39	5,195	1,125	108	
対 R2 比	97%	99%	88%	97%	153%	116%	101%	101%	
R1年度実績	2,993	2,483	791	98.8%		5,350	1,282	130	
対 R1 比	84%	87%	80%	94%		113%	88%	84%	
H30 年度実績	3,115	2,642	790	101.0%		5,861	1,380	102	
対 H30 比	80%	82%	81%	92%		103%	82%	107%	

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク黒石 就職支援業務報告（令和3年度）

別添4

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

○事業所PRボード（移動式ホワイトボード）を活用した求職者への事業概要等の周知及び会社説明会等の開催

当所では、就職、充足促進及び人材不足分野業種の人手不足解消を目的として、事業所PRボードを活用した求職者への事業概要等の周知を行い、求人票以上の情報を提供することで、応募（面接）機会の確保・向上を図りました。

また、この取組は、会社説明会＆ミニ面接会（12回開催、参加者209人、相談者22人）と組み合わせて実施可能であることを事業所に周知し、参加勧奨に努めています。会社説明会参加事業所からは、「求職者にPRする機会」が得られたことに対し好意的な意見が寄せられています。

○雇用保険受給者に対する早期再就職のメリット周知による早期就職件数の促進

当所では、意欲喚起による早期再就職件数の向上を図るため、受給資格決定時に①失業長期化のデメリット及びメリット（早期就職するほど再就職手当の支給率がアップすること。）を記載したイラストの配布、②雇用保険説明会開催時における再就職手当の活用勧奨、③初回認定日に「支給残日数に応じた受給者毎の再就職手当支給額シミュレーション」を交付のうえ説明し、意欲喚起に繋げています。

受給資格決定件数が減少（令和3年度990件、令和2年度1,146件、対前年比13.6%減）している中、これらの取組により、令和3年度の雇用保険受給者早期再就職件数は300件となり、令和2年度実績（令和2年度実績433件、対前年比30.7%減）を下回りましたが、一定の効果はあったものと考えます。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

○求職者、求人者に対する職業相談等の内容の充実（より、きめ細かく）

新規求職者数が減少傾向にある中で、新規求人数は増加しており、相談件数は増加しています。一方で紹介件数が減少となっており、結果として、就職件数、充足件数とも伸び悩んでいることから、令和3年11月より職業相談等をよりきめ細かく実施することとした。具体的には、求職者に対して①希望する職種や条件の幅を広げての検討を助言、②積極的な求人情報の提供とフォローアップに努める、③職業相談の都度、求職条件を詳細に確認し変更点等を記録しておく、④求職者の希望する求職条件のうち「緩和が可能な条件」「絶対に譲れない条件」等がある場合は可能な限り記録しておくこと（郵送による求人情報提供をするか否かの判断で参考になる場合もあり。）、求人者に対して①求人受理に当たっては、労働条件の明確化を意識すること、②未充足求人の更新に当たっては、可能な限り労

働条件の見直しを勧奨し、困難な場合であっても仕事の内容をわかりやすく見直す等の助言を行うこと、以上を意識し職業相談等を実施しました。

上記取組後の令和3年11月から令和4年3月までの就職件数、充足件数を、令和2年11月から令和3年3月までと比較すると一部前年実績を下回った月もありますが、ほぼ前年実績を上回ることができ、結果、求職者、求人者へのサービス改善が図られたものと考えています。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

○会社説明会&ミニ面接会開催時における相談者数の向上

会社説明会参加者209人に対し、ミニ面接会に参加した求職者が22人で相談に至った割合が10.5%と低調だったことから、事業所訪問する際は、当該取組を周知して幅広い業種に対し参加を勧奨します。これにより、相談者数の増加を目指すこととします。

(4) その他業務運営についての分析等

○令和3年9月から開始されたオンライン紹介、オンライン自主応募について

令和3年度のオンライン紹介、オンライン自主応募の実績は0件です。また、令和3年9月から令和4年3月の間の新規求職者申込件数は1,761件、うちオンライン登録者は15人であり1%（0.9%）にも満たない状況となっています。オンライン紹介、オンライン自主応募が活用されるには、求職者マイページ開設の推進の取組が重要になってくると考えます。

マイページ開設推進の取組については、求職申込時や職業相談の際にリーフレットを活用し周知を行っていますが、今後は、全求職者に一律に利用勧奨していた従来の手法を見直し、訓練受講者や就職支援ナビゲーターの支援対象者等重点的に周知を行う属性を絞るなど、効果的な活用方法について検討が必要と考えています。

○事業所訪問について

事業所訪問については、求人開拓や事業所情報の収集等積極的に実施していく必要があると考えますが、令和3年度においては新型コロナウィルス感染拡大防止の影響により訪問による求人開拓が制約され21件の実績でした。コロナ禍前の平成30年度の実績が143件であったことから、今後は事業所訪問による求人開拓等を段階的に再開させていく予定としています。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人件数	正社員就職件数		
令和3年度実績	1,240	873	300	91.5%	29	2,333	618		
過去3年度平均	1,436	960	422	106.0%	33	2,054	693		
R2年度実績	1,268	909	433	97.5%	33	2,050	578		
対 R2 比	97%	96%	69%	93%	87%	113%	106%		
R1年度実績	1,493	1,018	412	106.0%	—	2,108	734		
対 R1 比	83%	85%	72%	86%	—	110%	84%		
H30 年度実績	1,548	952	421	115.3%	—	2,004	767		
対 H30 比	80%	91%	71%	79%	—	116%	80%		

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

令和4年度 ハローワークのマッチング機能に関する業務の目標

別添5

令和4年度の主要指標目標値【ハローワーク別】

主要指標

就職件数

求人充足件数

雇用保険受給者の 早期再就職件数

青森労働局

23, 475件

ハローワーク青森

5,135件

23, 037件

5, 750件

ハローワーク八戸

5,488件

5,355件

1,330件

ハローワーク弘前

4,247件

5,271件

1,358件

ハローワークむつ

1,093件

4,870件

1,033件

ハローワーク野辺地

992件

941件

242件

ハローワーク五所川原

2,141件

1,061件

276件

ハローワーク三沢(+和田を含む)

2,911件

1,715件

534件

ハローワーク黒石

1,468件

2,623件

654件

1,201件

323件